



日勤労働千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

93.2.19 No. 3743

一格差是正 = 年度末手当獲得! 「九三・三ダイ改」阻止へ向け一

本年春季第一波貨物入

要求獲得と強化を

「貨物八千人体制」との
本格的対決の開始!!
今日二月一九日新小岩・佐倉両支部は、乗
務員が始発時より一四時まで、地上勤務者に
ついては一三時から一四時までの時限ストラ
イキに立ちあがっている。

この春季第一波ストの意義は、すでに明らか
にしてきたように、①一格差是正=年度末手
当の獲得、②「九三・三ダイ改」阻止の闘い
である。

さらに踏みこめば、「分割・民営化」=七
分割体制の最大の矛盾を突く闘いであり、「
見直し」攻撃である「貨物八〇〇〇人体制」
との本格的対決の突破口を開く第一の闘い
である。

そして「分割・民営化」を推進し、合理化
・格差など貨物の労働者を裏切り続けてきた
JR総連=日貨労働体の端緒を切り開く決定
的な闘いである。

われわれは今次に九ストの貨物からの決起
を全体化し、「分割・民営化」体制打倒! 「
見直し」攻撃粉碎へ、更なる闘いへ起とう!

- (1) 1992年度内に、生活改善一時金として、基準内賃金の0.5
ヶ月分を支払うこと。
- (2) 93・3ダイ改における要員削減計画を撤回すること。
- (3) 労働時間短縮について、当面次の内容により実施すること。
 - ① 「国民の祝日」「年末年始休日」を除いて、年間休日数を
104日とすること。
 - ② 1日労働時間を短縮すること。
 - ③ 労働時間短縮に伴う必要要員を配置すること。
- (4) 「勤労千葉申第17号」【別紙】踏切について、立体交差化等の
抜本的な安全対策を講ずること。

2.28「分割・民営化10年を問う」 シンポジウムへ集まろう

二・二八、「分割・民営化一〇年を問
うシンポジウム」が、いまや歴史的にみ
ても重要度を増している。

一月一〇日に発表された総務庁行政監
察結果は、「分割・民営化」の最大の理
由としていた長期債務償還が完全に破産
したことを自認し、告白したものであつ
た。

何のための

「分割・民営化」

だったのか?

清算事業団の債務は、発足時よりも九
千億円増加し計二六兆四千億円(九二年
度首)、これは一日当たり約四〇億円・
年間金利支払額約一兆五千億円に達し、
清算事業団が所有する土地・株売却の行
き詰まり状態から言っても、返済不可能
であることは自明の理だ。

さらに国鉄長期債務の連結決算(清算
事業団・JR各社・鉄道整備基金の債務
合計)は、なんと「分割・民営化」時と
同額の三七兆一千億円である。

これにはJR三社(東日本・東海・西
日本)が買取った、既設新幹線の債務九
・一兆円が含まれていない。

ここに「分割・民営化」による国鉄問
題の解決=長期債務の償還は音をたてて
崩れたことが示されている。

国鉄労働者の

魂に伝える

闘いを!

われわれは怒りを以て、想起しなけれ
ばならない!

あの「ヤミ・カラキャンペーン」から
開始された「国鉄労働者国賊論」を!そ
して「分割・民営化」が強行した一〇万
人の首切りを!ありとあらゆる不当労働
行為の数々を!いまこそ一〇〇名を越え
る自殺にまで追いこまれた国鉄労働者の
魂に伝えなければならぬ!

清算事業団への差別・選別、一四〇七
名が二度の解雇を受け、現在なお塗炭の
苦しみの中に置かれているではないか!
「分割・民営化」の見直し攻撃など断
じて許してはならない!

「分割・民営化」

体制の打倒こそ

われわれの使命!

国鉄労働者は、二・二八東京・南部労
政会館に総結集しよう!
「分割・民営化」体制の打倒こそ、全
国鉄労働者の使命である。